

一人一人がよく考え、 メディアと上手に付き合おう

社会の情報化が進み、スマホやパソコンは、日常生活になくてはならないほど浸透し、誰もが毎日当たり前のように使っています。正しく使えばとても便利なツールですが、間違った使い方をすると犯罪に巻き込まれたり、発達や成長に悪影響を及ぼしたりします。湯沢の子どもたちは、学園創立当初から全国比で 2 倍近いメディア接触が報告され、現在もこの状況が続いています。

そこで、湯沢学園 10 周年の節目を期に子どもたち一人一人が「**メディアコントロール力を身に付ける**」ことを目指し、6 月 20 日全児童生徒と保護者が一緒に講演を聞き、今後の取組の指針を得ることとしました。ゲーム・ネット依存やトラブルを防ぎ、子どもたちの健全な成長を願う今後の取組は、「子ども一人一人が自分で考え、適切にメディアを活用する力」の育成に力を入れていきます。湯沢学園が目指す「人を想い 我を磨く」は、自分が関わる多くの人々とよりよい関係を築き、尊敬や感謝の気持ちを持ちながら自分の力を伸ばしていく姿です。メディアもそのための大切なツールになってくれることを期待しています。そこで、湯沢町子育て教育の日にあたり、子どもたちへ次のメッセージを送ります。



公益社団法人 日本医師会 公益社団法人 日本小児科医会 提供資料

【湯沢で育つ子どもたちへ】

未来の自分を輝かせるために、自分で考え、メディアをうまく使おう！

よく考え、適切に使おう

- ・使う時間・やめる時間を決めて使おう。
- ・使う中身・使い方を考えて適切に使おう。
- ・家庭学習・家読書・お手伝いなどの時間を決め、毎日確実に行動しよう。
- ・睡眠の 1 時間前には使用をやめ、早寝・早起きに心がけよう。

危険を理解し、正しく使おう

- ・個人情報絶対にもらさない。(文字だけでなく画像も危険です。)
- ・うそや悪口を絶対に書き込まない。
- ・ゲームの年齢制限を守る。
- ・使いすぎの危険を理解し、やめる勇気をもつ。

【保護者の皆さまへ】お子さんとよく話し合い、自立を支えてください！

子どもの成長の過程でメディアとの接触は、大きな影響を及ぼします。メディアを与える際には、お子さんとよく話し合い、子どもたちのよりよい成長を目指し、「考えて使う子ども」に育つよう家庭での取組を進めてください。具体的には、

- ①乳幼児期は、人やものとの五感を通した直接的な実体験を大切にしてください。
- ②お子さんとよく話し合い、使い方やルールを家庭で決め、守る力を育ててください。
- ③スクリーンタイム（メディアとの接触）ではない活動をお子さんと話し合い、保護者も一緒に取り組み、メディアでない楽しみをたくさん見付けてあげてください。
- ④保護者がメディアの使い方のよいお手本となるように努めてください。

今後、定期的にアンケート等でメディアコントロール力の育ちを把握し、随時お知らせする予定です。